

「ゆーすぴあ “職” セミナー」

～人と出会い！自分に気づく旅～

★事業の概要★

事業のねらい

青年の社会的自立を図るために、「豊かな人間関係」を構築する力の向上を目指すとともに、「確かな人生観・職業観」の醸成を支援する。

期 日

①平成22年 9月 5日（日）～ 9月11日（土） 【大雪会場】
 ②平成22年10月26日（火）～10月30日（土） 【砂川会場】

会 場

①国立大雪青少年交流の家及び美瑛町内
 ②北海道立砂川少年自然の家及び砂川・滝川市内

対 象 者

高校生以上の青年

参加者数：参加募集人数

①13名：10名
 ②11名：10名

日 程

①大雪会場

< 午前 >

< 午後 >

< 夜間 >

日	起床/つどい	朝食	< 午前 >		< 午後 >		夕食	コミュニケーション活動①	入浴/就寝
9/ 5 (日)					受付/開会式		夕食		入浴/就寝
9/ 6 (月)	起床/つどい	朝食	コミュニケーション活動②	昼食	グループ活動		夕食	チャレンジワークに向けて	入浴/就寝
9/ 7 (火)	起床/つどい	朝食	チャレンジワーク				夕食	ふりかえり	入浴/就寝
9/ 8 (水)	起床/つどい	朝食	チャレンジワーク				夕食	ふりかえり	入浴/就寝
9/ 9 (木)	起床/つどい	朝食	チャレンジワーク				夕食	ふりかえり	入浴/就寝
9/10 (金)	起床/つどい	朝食	チャレンジワーク				夕食	ふりかえり	入浴/就寝
9/11 (土)	起床/つどい	朝食	まとめ	閉会式/解散					

②砂川会場

日	起床/つどい	朝食	< 午前 >		< 午後 >		夕食	コミュニケーション活動	グループ活動	入浴/就寝
10/26 (火)					受付/開会式		夕食		グループ活動	入浴/就寝
10/27 (水)	起床/つどい	朝食	チャレンジワークに向けて	チャレンジワーク			夕食		ふりかえり	入浴/就寝
10/28 (木)	起床/つどい	朝食	チャレンジワーク				夕食		ふりかえり	入浴/就寝
10/29 (金)	起床/つどい	朝食	チャレンジワーク				夕食		ふりかえり	入浴/就寝
10/30 (土)	起床/つどい	朝食	まとめ	閉会式/解散						

★プログラム紹介★



①「コミュニケーション活動」

様々なアクティビティを通して、人と関わることの楽しさや難しさを体験から学びました。



②「グループ活動」(野外炊飯)

協力して活動する中で、豊かな人間関係を築いていくことに大切な要素を数多く感じました。



③「チャレンジワーク」(写真：佐藤農場)

職業人とのふれあいのなかで、働くことと生きることの意味の深さについて考えさせられました。



④「チャレンジワーク」

(写真：ポテトの丘)

各職場での作業をやり遂げることで、自分自身の職業観を具体的に深めていきました。



⑤「チャレンジワーク」

(写真：新山ファーム)

職業人のそばで実際に就労体験をしながら、一人ひとりが生きる姿勢を学びました。



⑥「ふりかえり」

コミュニケーション活動やチャレンジワークでの気づきや学びを互いに共有し、個々の変化や成長を実感しました。

運営のポイント

- ①参加者が所属する自立支援施設の職員に事業運営の支援者になってもらうことで、事業全般にわたって参加者の心身両面の細やかな支援にあたった。
- ②プログラムの展開に関しては参加者の心理面や疲労度に十分配慮しながら、柔軟に対応することとした。
- ③チャレンジワークの受入先に事前に必要な参加者の情報を提供することで、参加者への指導や関わり方について確認した。

事業を終えて(成果と課題)

- ①各自立支援施設の職員が事業運営に加わることで、チャレンジワーク受入先との信頼関係や相互理解を深めることができ、スタッフ全体で受容的な姿勢で参加者に接することができた。
- ②豊かな人間関係を構築するために必要な「自己肯定感」や「他者への信頼感」を向上させるプログラムを確立することができた。
- ③新規のチャレンジワーク受入先との事前打合せや情報共有のあり方に課題を残した。

今後の方向性

本事業を通して構築された自立支援施設や高等教育機関とのネットワークを有効に活用して、幅広い自立支援の取組みを推進していく。